

大雨と急速な融雪等に備える営農技術対策

令和2年3月10日
北海道農政部

札幌管区气象台によると、北海道付近では、前線上に発達する低気圧が3月10日夜遅くから11日にかけて発達しながら通過することが見込まれており、上空には5月上旬並の温かい空気が入り気温が高くなることから、太平洋側を中心に断続的な激しい雨が降り大雨となるおそれがあります。

また、道内では、3月5日から6日の大雪により積雪が平年より多くなっている地域もありますので、大雨や融雪による低い土地の浸水などに留意し、引き続き随時発表される気象情報に十分注意し対応に努めてください。

札幌管区气象台ホームページ <http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>

注 意 項 目

- 1 最新の情報に注意して、天候急変に備えた早めの準備を行う。風雨等が強い場合は、むやみに施設等に近づかず、安全の確保に心がける。
- 2 農業施設への融雪水の浸水に備えた対策を行う。
- 3 気温の上昇に伴う落雪に留意する。

第1 大雨及び融雪対策

- 1 ビニールハウス・農舎・畜舎・サイロ・飼料庫等は、屋根や壁の点検・補修を行い、風雨等による被害を防止する。
- 2 融雪水がほ場に停滞することがあるので、施設周辺に排水溝を掘り、ビニールハウス周辺の排水溝は、ハウスのすき床面より低く掘り下げ、ボイラーや移動できる機械類は可能な限り高所に移す。また、土のうを積むなどにより施設への浸水を防ぐ。
- 3 低地や排水不良地など滞水が心配される畑地では、明渠や排水溝へ排水できるよう溝を掘っておく。

第2 落雪対策

- 1 雪^{せつび}庇や屋根から雪が落ちるおそれがあるので、周囲に人が入り込まないように注意する。
- 2 軒下に灯油タンクやガスボンベがある場合、落雪で配管に亀裂や緩みが生じ燃料が漏れる危険があるので注意する。

落雪で暖房器具の屋外給排気筒がふさがれたり、破損すると、不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒の原因になることがある。また、電線や電話線が切れることがあるので、雪を下ろす場所に注意する。

第3 その他

低気圧が通過後、地域によっては降雪も予想されているので、令和2年2月28日付けの融雪期の営農技術対策に沿って積雪への対応を図ること。